

エコ・ウッド・トリートメント マニュアル



◆確認①（塗布前）

乾燥させた木材にお使いください。

すでに塗装または加工されている木材には、塗布しても効果が低下するため、塗布することはおすすめしていません。無垢の乾燥した木材をおすすめします。

（注）無垢素材のドアや、窓枠などの加工製品については、施工（組立の過程で接着剤や糊がついている場合があります。

そのままエコ・ウッド・トリートメントを塗布すると、ムラになりやすいので、十分にご注意ください。飛び出た接着剤などは、サンダーなどで削ってから塗布してください。

※パーティクルボードや合板、化粧板、繊維板（MDF）等は使用できません。

※塗布後にペンキなどでの塗装は効果が著しく低下するのでおすすめしません。



◆確認②（面積算出）

塗布する面積を算出します。

エコ・ウッド・トリートメント 40g の粉末を 4 リットルの水で溶き 2 度塗りすると、およそ 15 m² 塗布することができます。



◆確認③（溶く時）

容器や攪拌具はプラスチックやステンレス製バケツをお使いください。水道水、イオン交換水や蒸留水などに、エコ・ウッド・トリートメントを塗布面積分溶かします。

※溶かす際にエコ・ウッド・トリートメントの粉末を吸い込まない用に注意してください。

※ミネラル分の多い井戸水、カルシウムやマグネシウムが多く含まれる硬水を使用することはおすすめいたしません。

※金属製、アルミ製のバケツなどで作業する場合は、錆などが生じますのでご注意ください。

※粉末が目や口に入らないように、ゴーグルやマスクなどをつけて作業してください。



◆塗る前に

塗る前の準備として溶液がまわりに付着しないようにシートなどを敷いてから作業を行ってください。



◆塗る時

塗布する際は、濡れた木材は完全に乾燥させてから塗布してください。木材全面に塗布してから斑ができないようにローラーか刷毛でゆっくりと丁寧に塗布します。1度塗りが終わり乾いたら、再度重ね塗りをしてください。小さいものは大きめの容器で浸漬処理もできます。塗り方は、一方向から塗ってください。

※ローラーや刷毛で往復塗りしてしまうと、気泡などが入り、斑塗りの原因になってしまいますのでご注意ください。

※樹脂を多く含む木材は、浸透しにくいので丁寧に塗布してください。



◆後片づけ

使用後は、刷毛やローラーなどの道具を水洗いするだけでOKです。最後は石鹼で手を洗い溶液をしっかりと洗い流してください。



◎保管

残った粉末は、長期保存ができます。直射日光を避け、光と湿気のない処で保管をお願いします。残ってしまった水溶液は、保存できませんので、ろ過し水分は下水に流してください。



エコ・ウッド・トリートメントの粉末

◎塗布後の変化と注意

エコ・ウッド・トリートメントは「色ムラは」でません。

エコ・ウッド・トリートメントは着色用塗料ではありません。本材に含まれる成分が紫外線に反応して発色する材なのです。そのため、着色用塗料を塗布した後にマレに発生する「色ムラ」は、本材には顔料が含まれていないため発生しません。

※ただし、赤身や白太といった木肌色は、紫外線反応発色後に天候状況や角度などにより、発色の見え方が変わることがあります。これを色ムラと間違えないようお願いいたします。

灰汁の強い樹木はあく抜きをおすすめします。

クヌギ、クリ、ナラなど、灰汁の強い樹木は、エコ・ウッド・トリートメントをそのまま塗布すると、塗布したところから黒く変化する場合があります。1度、水を張ったところで木材をつけて灰汁抜きし、よく乾燥させてからエコ・ウッド・トリートメントを塗布してください。

エコ・ウッド・トリートメント塗布後の変化は？

エコ・ウッド・トリートメントを塗布した直後の変色は、材質、産地、厚さ、温度、天候などにより異なります。

樹種で比較すると、スギ、ヒノキ、パイン、赤松といった針葉樹は緑から茶色に変色し、時間がたつとこげ茶へと変わります。

けやきをはじめとする広葉樹はグレー掛った緑から茶色に変化します。広葉樹は針葉樹に較べて繊維構成が複雑な分、浸透深度も浅くなり発色程度もやや薄い感じになります。

(灰汁の強い種類は灰汁抜きをしてから塗布してください)

メンテナンスがいりません。

雨などにより、塗布した保護成分は木材の内部に浸透して中からも保護します。

1度塗れば、効果は木の保護状態、立地、物件にもよりますが、十数年～数十年続き、塗り直しする必要がありません。

※カナダでは、約60年の実績が。日本でも、約10年の実績があります。

◎塗布をおすすめする施工場所は

木造住宅、木壁、木塀、ログハウス、デッキ、テラス、バルコニー、木造、木橋、案内板、プランター、エクステリア家具等、木の保護にご使用ください。



右：塗布後陽にあたる場所に設置したSPF
左：塗布後日陰に設置したSPF



灰汁の強い樹木に直接塗布すると・・・



右からケヤキ、バイマツ、ナラ、チーク、カバザクラ、クリ、メープル、オーク

メンテナンス不要



施工例



カナダ



塗布後 4 カ月 (日本)



塗布後 4 ヶ月 (日本)



塗布後 2 カ月 (日本)



塗布後 5 ヶ月 (日本)



塗布後 4 カ月 (日本)

安全で無害の木材保護処理剤で、人と環境にエコロジーな木材保護方法です。

※エコ・ウッド・トリートメントはペンキなどの塗料ではありません。

